



タイトル「2018年度シラバス」、フォルダ「経済経営学類」  
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	教養演習 I		
担当教員	<a href="#">後藤 康夫</a>		
対象学年	1年,2年,3年,4年	クラス	経:G
講義室			
開講学期	前期		
曜日・時限	木3	単位区分	必修
授業形態	演習	単位数	2
準備事項			
備考			
ナンバリング			
授業概要とねらい	<p>テーマ: グローバリゼーションと地球の未来 ねらい: 2016年11月、アメリカ大統領にトランプが選出され、「トランプ現象」と呼ばれるように、さまざまな問題が噴出しています。このゼミでは、世界各地に広がりつつある「トランプ現象」を通して、グローバリゼーションについて、そして「世界のなかの日本」について、理解を深めます。あわせて、本の読み方や発表の仕方など、大学での学習とは、どんなものなのかについて、“体験学習”していきます。</p>		
望ましい水準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 世界の動きに知的関心・好奇心をもつ</li> <li>2 他者の意見を聞き、自分の意見を他者に伝える</li> <li>3 他者と対話・討論する</li> <li>4 レジюме・要約を作成し、報告する</li> <li>5 司会をし、論点を整理する</li> </ol>		
授業計画	回	内容	
	1	第1部 テキスト(金成隆一『ルポ トランプ王国 もう一つのアメリカを行く』)の目次を挙げておきます。	
	2	白人の工場労働者	
	3	地方で暮らす若者たち	
	4	ミドル・クラスの没落	
	5	なぜ学生たちは “民主社会主義者”サンダースを熱狂的に支持したのか	
	6	アメリカン・ドリームの終焉	
	7	第2部 テキスト(西川潤『2030年 未来への選択』)の目次を挙げておきます。	
	8	人口と食糧のバランス	
	9	エネルギー・資源・ commons	
	10	近代世界システムと資本主義のゆくえ	
	11	世界のガバナンス	
	12	グローバリゼーションは終焉なのか	
	13	地球市民、世界市民はどのような形をとるのか	
	14	総括討論	
	15	総括討論	
	16	レポート提出と報告	
教材・教科書	金成隆一『ルポ トランプ王国 - もう一つのアメリカを行く -』(岩波新書、860円 + 税) 西川潤『2030年 未来への選択』(日経プレミアムシリーズ、870円 + 税)		
参考図書	西川潤『新・世界経済入門』(岩波新書)		
参考URL			
授業以外の学習	ネットや新聞、テレビなどで、世界の動きを知る。自分でいろいろ調べて整理する。「何が問題なのか」を突き止める。		

成績評価の方法	討論への参加や、レジュメ作成、報告などを大前提に、平常レポート(100点)。
成績評価の基準	A すべての項目において、高い水準に達している B 一部の項目において、高い水準に達している C 全ての項目において、望ましい水準に達している D 一部の項目において、望ましい水準に達していない F 半分以上の項目において、望ましい水準に達していない
オフィスアワー	随時、受け付けます。 かならず事前にアポイントメントを取って下さい。
留意点・注意事項	世界市民として、スケール大きな人間になろう
その他	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け1	幅広い教養／多角的・総合的思考(幅広い教養1)
カリキュラムにおける当該科目の位置付け2	経済経営学類のディプロマポリシー／幅広い教養と高い倫理性を身につけている(経済経営学類 I-1)
カリキュラムにおける当該科目の位置付け3	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け4	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け5	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け6	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け7	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け8	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け9	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け10	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け他	

